

競技上の注意

1 競技について

- (1) コート割り及び進行は別表のとおりとする。ただし、本部の判断で変更することがあるので、本部からの連絡や「第56回全国中学校ソフトテニス熊本大会（進行・結果）以下Web進行表」に十分注意すること。尚、荒天時の場合、状況によっては大幅な変更を余儀なくされる可能性があるため、一時待機や試合の中断と再開・体育館の使用有無とその使用会場の男女の区別・競技日程および競技内容・試合進行等も含めた詳細については、その都度本部より大会公式「X（旧Twitter）」・Web進行表等で連絡する。
- (2) 集合時刻（及びオーダー提出時刻）の基準となる「対戦ペア・対戦チームの確定した時刻」、「試合が終了した時刻」とは、進行本部へ採点票が届き、進行係が試合結果を確認できた時刻とする。また、その時刻は「Web進行表（プログラム記載のQRコード）」に記載された時刻とする。Web進行表
- (3) 番号の小さい方のチーム（ペア）のベンチを、審判台から見て左側とする。会場図を参照のこと。
- (4) 人工芝の部分をフロアとする。フロアには、試合をする選手・ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）以外はいれない。
- (5) マッチ開始前の練習は1分以内とする。
- (6) 給水は、各ゲームの終了時、およびファイナルゲーム中のチェンジサイズ時に認める。4の(3)の助言が認められている時間はベンチ付近で、それ以外は審判台の付近で給水する。審判台の付近での給水の場合、給水容器等はあらかじめ選手が自分で審判台の下へのベンチ板の上に置いておく。また、審判台付近での給水は、隣のコートの試合の妨げにならないよう給水のみを速やかに行い、打ち合わせなどはしない。
- (7) ファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に3分間の休憩と助言を許可する。なお、練習は認めない。（本大会適用ルール）
- (8) 相手のタイム時は、自陣での試合球（1球）を使った練習を認める。

2 個人戦について

- (1) 選手・ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）は以下に示す時間までに「選手招集所」に集合する。試合の終了時刻及び集合時刻は「Web進行表」に掲載する。

月日（曜日）	試合順	集合時刻
8月19日（火）	第1試合	9時30分
	第2試合	10時05分
	第3試合から第8試合	試合を行うコートの二つ前の試合が終了してから20分以内
	第9試合（3回戦）以降	第8試合が終わってから15分以内
8月20日（水）	第1試合（準々決勝）	8時35分
	第2試合（準決勝）以降	対戦ペアが確定してから15分以内

- (2) コートへの入退場は招集係・審判員の指示に従う。

3 団体戦について

- (1) 3ペアの点取り対抗戦とし、2点を先取したチームを勝者とする。ただし20日（水）のすべての試合と、21日（木）の第1試合、第2試合（男女とも両日の初戦）は、第3マッチまでを行う。
- (2) オーダー票の提出は、以下に示す時間までに監督が「オーダー受付」に提出する。
選手・ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）は以下に示す時刻までに「選手招集所」に集合する。試合の終了時刻及び集合時刻は「Web進行表」に掲載する。

月日（曜日）	試合順	オーダー票の受付時刻	集合時刻
8月20日（水）	第1試合（1回戦）	13時00分	13時15分
	第2試合（1回戦）	14時30分	14時45分
8月21日（木）	第1試合（2回戦）	8時35分	8時50分
	第2試合（2回戦）	10時05分	10時20分
	第3試合（準々決勝）以降	対戦チームが確定してから10分以内	試合を行うコートの1つ前の試合が終了してから15分以内

※対戦相手が確定していない場合の集合時間は、オーダー票を提出してから5分以内とする。

- (3) コートへの入退場は招集係・審判員の指示に従う。オーダー票の交換は行わない。
- (4) コートに入ったらすぐ挨拶すること。円陣などは禁止する。挨拶前後の監督・コーチからの指導は一切禁止する。個人戦及び団体戦の第1マッチのペアは挨拶の時にラケットを持って整列し、挨拶後はコートに残りすぐに試合を行うこと。
- (5) サービス（レシーブ）とサイドの決定は、コートで各マッチの開始時に行う。
- (6) 試合をしていない選手はベンチに座る。次の試合の選手がベンチから離れてコートの後ろなどでアップすることは認めるが、ラケット・ボールなどは使用せず、試合の妨げにならないように行うこと。防球ネットの後ろはコートとみなさない。また、その選手たちは応援しないこと。
- (7) 熱中症対策として、自分の試合が終わった選手はコート外での待機を認める場合がある。ただし、一度コート外に出た場合は、団体戦終了の挨拶まではコート内に戻することはできない。試合中のユニフォームで終了時の挨拶には立ち会うこと。

4 ベンチ・ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）について

- (1) 団体戦を2面同時展開で行う場合は、中央のベンチを使用する。1試合が残った時点で、そのマッチが行われているコートのベンチを使用すること。
- (2) 個人戦で2ペア以上出場し、同時にマッチが行われている場合は、ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）は、「選手招集所」に集合しなくてもよい。その場合、途中からのベンチ入りを認める。また、ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）がベンチを移動して助言することができる。ただし、一度離れたベンチに再び戻ることはできない。なお、選手はプレーしているコートを離れて助言を聞くことはできない。
- (3) マッチ中に選手に助言する場合は、サイドのチェンジおよびファイナルゲームに入る前のインターバルの1分以内（ヒートルール適用時は3分以内）とし、ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）が所定のベンチで行う。なお、それ以外の監督・コーチおよび応援者による指示（ブロックサイン等を含む）は禁止する。
- (4) ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）はベンチから立たない。選手を座らせてアドバイスをする場合も、監督はベンチに座って行うか、ベンチの前に腰を下ろした状態で行う。
- (5) クーラーボックスの持ち込みをする場合にはベンチの下へのベニア板の上に置くこと。
- (6) 通信機器（スマートウォッチ等を含む）や小型扇風機等の電気機器（充電式・バッテリー駆動含む）の持ち込みは認めない。

5 応援・かけ声について

- (1) 応援はスタンドからとする。フロアから前3列は試合を行っているペア・チームの応援席として使用するため荷物等を置くことはできない。スタンドからコートに向かって左側を番号が小さいペア・チームを、右側を番号が大きいペア・チームで使用し応援する。左右の応援場所の区別は、スタンドに貼られたテープで判断すること。サイドからの応援は禁止する。ただし個人・団体ともに準決勝からは、両側のベンチ後ろからの応援を認める。その際は本部からの指示に従う。
- (2) 音の出る道具を使用しての応援は行わない。（うちわを使って音を出す場合は、音の出る道具と見なす。他も同様とする）
- (3) 個人戦の応援は、声をそろえての応援（いわゆる壁応援）は行わない。
- (4) 団体戦の応援は、声をそろえての応援（いわゆる壁応援）を認める。
- (5) 以下のような行為があった場合、選手・ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）は「警告」の対象、応援団は「注意の喚起（または退場）」の対象となる。
 - 過度のかけ声、相手を不快にさせる発声、威圧的な発声や動作（相手に向かってのガッツポーズなど）など。また、アンパイヤーのコールを妨げたり、プレーやマッチの進行に支障をおよぼしたりするような行為。

○ ベンチ・応援団からの助言（次のプレーに関わる内容の指示・かけ声）※ブロックサインを含む。

- (6) 競技中のフラッシュ撮影は禁止する。

6 審判上の注意

- (1) 集合時刻になっても選手が「選手招集所」に集合しない場合、集合時刻から5分後に「警告」、さらに

5分後に2回目の「警告」、それでも集まらない場合は、その5分後にレフェリー判断で「失格」とする。
団体戦の場合、警告回数は第1マッチのペアに累積する。時刻は日本標準時（各携帯電話等で確認できる時刻）を基準とする。

- (2) 身体上の理由によりマッチを中断する場合は、ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）、及びベンチ外からのチームトレーナー等1名の入場や手当を認める。その際、マッチを中断した時点からタイムとして計測する。また、ベンチ外からのチームトレーナー等の入場や医療用具等の持ち込みは、コート主任の許可が必要となる。救護係等の入場は、大会本部が決定する。救急隊員等による救急搬送が必要であると判断された場合は、複数のコートで試合を止める場合がある。

- (3) マッチは開始の挨拶から終了まで、連続的にプレーすること。審判の「レディ」「レッツプレー」のコールがかかったら速やかにプレーの位置につくこと。

例①：相手の準備が整っている状態で、ペアと打合せをしない。

例②：タイムの許可をとらないで靴の紐を縛り直すなどプレーの中断をしない。流れを変えるために靴の紐を縛り直すなどの行為は、「警告」の対象とする。（ただし例②の場合、上記（2）の計測は行わない。ソフトテニスハンドブック競技規則第39条(2)による）

- (4) チェンジサイズ時やファイナルゲーム前は、前のゲーム終了時のコールから1分以内に次のゲームの準備ができるようにすること。40秒でブザーがなる。60秒で2度目のブザーと「レッツプレー」がかかる。ファイナルゲーム前は、前のゲーム終了のコールから3分以内に次のゲームの準備ができるようにすること。2分40秒でブザーがなる。3分で2度目のブザーと「レッツプレー」がかかる。2度目のブザーと「レッツプレー」で、移動するそぶりがなければ「警告」の対象とする。

- (5) コート外からの声掛けや扇風機で風を送ったりするなどの援助は「注意の喚起（または退場）」の対象とする。

別記1)

第56回 全国中学校ソフトテニス大会 「服装・用具等の規定」

1 選手

競技中及び開始式・表彰式では次のとおりとする。

- (1) ユニフォームは、(公財)日本ソフトテニス連盟の着用基準を満たしたものとする。ただし、学校指定の体操服は可とする。
- (2) サポーター・テーピング、アンダーシャツやアンダータイツ等の使用や着用を認める。
- (3) シューズは、テニスシューズを着用する。ただし、体育館では室内用シューズに履き替える。
- (4) (公財)日本中学校体育連盟ソフトテニス「ゼッケン規定」の選手ゼッケンを付ける。

2 監督・外部指導者

ベンチ入り及び開始式・表彰式では次のとおりとする。

- (1) 上下ともスポーツウェアを着用する。
- (2) シューズは、テニスシューズを着用する。ただし、体育館では室内用シューズに履き替える。

<服装・用具等についての補足>

- (1) 服装・用具は、新たにデザイン等を入れず、装飾をしないこと。
- (2) シャツの袖をまくったり、ズボンを下げて履いたりしない。
- (3) 靴や靴紐などを意図的に色違いにしない。
- (4) アンダーシャツ・アンダータイツ（ステッチも含めて）、サポーター、テーピングを使用する場合、単色とする。
- (5) 選手の腕などへのペイント・文字の書き込み、磁気ネックレス、装飾品（ミサンガなど）、腕時計の使用は禁止する。
- (6) 特別な医療器具を使用するときには、所定の「医療用具使用届」に必要事項を記入し、ブロック長を通じて、各到着受付時に「大会本部受付」に提出する。